

当市の介護施設の展望は

「選ばれる施設」への変革

議員 介護施設入所者状況の推移と入所待ちの推移は。

保健福祉部長 「特養」の待機者は令和3年4月1日は156人で、令和7年4月1日は101人と55人減少。

議員 要介護者の当市以外への入所状況及び他市町村から当市への入所状況は。

保健福祉部長 市外の施設を利用は「特養」33人、「老健」58人、「介護医療院」2人、計93人。一方、他市町村から当市へは、「特養」20人、「老健」13人に計33人。

議員 介護施設の求人状況

況とその問題は。

保健福祉部長 介護施設の有効求人倍率は、令和7年12月で1・51倍、また、全職業平均の0・63倍を上回り、多くの事業所は、年間を通し人材の確保に努めている。

議員 当市の介護施設の展望は。

保健福祉部長 積極的に「選ばれる施設」への変革が求められる、介護人材の確保は最重要課題で、必要な介護サービスを提供の維持に取り組む。

議員 当市の農業人口減少推移とその問題は。

市長 平成27年194人、令和2年134人と農業人口の減少の一途である。担い手の減少は、農地の維持管理、地域資源の継承、地域としての持続性などに直結する課題と捉える。

議員 「複合型農業」と「副業型農業」の釜石ならではの農業の成果は。

市長 収益性の高い品目の導入推進や甲子柿の生産拡大等を着実に進め、農業者の所得向上と安定化を図り、釜石地域の農業を見据えた取り組みを推進。

議員 釜石型農業の実施問題と当市農業の将来の見

通しは。

市長 「複合型農業」、「副業型農業」、「振興作物」を推奨し、「釜石型農業」に向け取り組みを推進。

議員 今年のクマの人的や農作物の被害対策は。

産業振興部長 「環境整備」「防除」「捕獲」を基本としたクマ被害対策に取り組む。

む。また、「複合柵」の設置。

議員 ニホンザルの行動エリアの拡大原因とそれによる農作物被害対策は。

産業振興部長 34頭と微増し、里山の利用低下や耕作放棄地の増加により生活しやすい環境になる。また、「複合柵」の設置支援を推進。



「選ばれる施設」のグループホームを目指して



菊池秀明

(令和クラブ)



議員のこちら
菊池の動画

質問項目

- ・釜石市の介護施設について
- ・産業の振興とクマ、ニホンザルの被害対策について

特養・老健・介護医療院…高齢者が入って生活する施設の種類。特養（特別養護老人ホーム）は長く暮らすための施設、老健（介護老人保健施設）はリハビリをして自宅に戻ることを目指す施設、介護医療院は医療と介護の両方を受けられる施設。

複合型農業・副業型農業…複合型農業は、いろいろな作物や家畜を組み合わせて育てる農業。副業型農業は、会社などで働きながら農業も行い、収入や担い手を増やすやり方。